

工業団地整備事業特別会計

平成28年度小郡市工業団地整備事業特別会計決算に係る主要施策報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により、平成28年度小郡市工業団地整備事業特別会計決算に係る主要施策の成果を次のとおり報告する。

平成29年9月1日

小郡市長 加地良光

平成28年度小郡市工業団地整備事業特別会計決算に係る主要施策を報告するにあたり、その概要を説明いたします。

本市は、これまでに干潟地区、上岩田地区の2箇所に工業団地26.8haを造成、分譲を行い、平成17年度に全区画完売しております。

本計画地である干潟地区は大分自動車道筑後小郡インターチェンジに近接し、主要地方道久留米・筑紫野線沿線に位置しており、また、高速道路のクロスポイントである鳥栖ジャンクションまで約5kmと広域交通利便性にも優れており、立地条件において高い評価が期待できます。

企業誘致は、自主財源の確保、地元雇用の促進などの地域活性化に大きく貢献し、本市においても第5次総合振興計画後期基本計画等で企業誘致の促進を目標に掲げております。

このような理由から企業の立地環境の条件整備のため、平成24年度に着手しました3.26haの干潟第2工業団地が平成29年3月に完成いたしました。

平成28年度の歳入歳出決算額は、下記のとおりです。

歳入決算額	265,882千円
歳出決算額	265,882千円
歳入歳出差引額	0千円
翌年度に繰越すべき財源	0千円
実質収支額	0千円

歳入総額は265,882千円で、地域開発事業債が187,300千円、一般会計繰入金が78,527千円、繰越金が55千円となっております。

歳出総額は265,882千円で、工業団地整備事業費が187,352千円、公債費が78,530千円となっております。

1. 歳入歳出決算の状況

(歳入) (歳出) (単位:千円、%)

科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
1 繰入金	78,527	29.53	1 事業費	187,352	70.46
2 市債	187,300	70.45	2 公債費	78,530	29.54
3 繰越金	55	0.02			
歳入合計	265,882	100.00	歳出合計	265,882	100.00

2. 地方債現在高の状況

(単位:千円、%)

	平成27年度 末現在高	平成28年度中の異動				平成28年度 末現在高
		発行額	償還額			
			元金	利子	計	
地域開発事業債	388,684	187,300	78,096	434	78,530	497,888

3. 歳出の内訳

1 款 事業費 1 項 事業費

(単位:千円)

工業団地整備事業					商工・企業立地課
総額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
187,352			187,300		52
【施策の目的】 新たな雇用の創出や自主財源の確保、地域活性化を目的として、交通利便性を活かし、工業用地の需要に対応するための工業団地の整備を行うもの。					
【施策の実施】 ・干潟第2工業団地確定測量 ・干潟第2工業団地造成工事					
【施策額の内訳】					
(1) 役務費			61	千円	
(2) 委託料			4,609	千円	
└・干潟第2工業団地確定測量業務委託料			4,557	千円	
└・干潟第2工業団地造成工事の影響に係る調査業務委託料			52	千円	
(3) 工事請負費			138,322	千円	
└・干潟第2工業団地造成工事 6工区(調整池の擁壁工事)			6,057	千円	
└・干潟第2工業団地造成工事 7工区(宅地造成工事・1号道路築造工事)			77,884	千円	
└・干潟第2工業団地造成工事 8工区(宅地造成工事・調整池底盤工事)			36,889	千円	
└・干潟第2工業団地造成工事 9工区(上水道管布設工事)			5,611	千円	
└・干潟第2工業団地造成工事 10工区(植栽工事)			2,111	千円	
└・干潟第2工業団地造成工事 11工区(交差点の照明灯設置工事)			9,770	千円	
(4) 負担金、補助金及び補償金			6,154	千円	
(5) 工事請負費(繰越明許費)			38,206	千円	
└・干潟第2工業団地造成工事 3工区(調整池の擁壁工事)			38,206	千円	
【施策の効果】 平成29年3月末、干潟第2工業団地造成工事が完了。宅地1-Bについては誘致企業が決定した。					